

国内研修報告書

2月14日から17日まで山形県小国町で国内研修をしました。

東京駅から夜行バスを使って約6時間で山形県米沢駅に到着しそこから始発の電車で小国町に向かいました。

私は福島出身で山形県と近かったのでよく行ったことはあったけれど、実際にゼミのメンバーと一緒に町の施設をまわったり、町長からお話を聞いたり地元の人と交流することは初めてだったので新鮮でとても良い経験になりました。また1年生の基礎ゼミメンバーの思い出が最後だったので沢山思い出をつくりたいと思って参加しました。

山形着いた時にまず初めに感じたことは、雪がすごく積っていて驚きました。私も雪が降る土地で育ちましたが、それ以上に2メートルを超えるくらい積っていました。雪の除雪の大変さや高齢者は雪かたしや買い物が困難になってしまうことが課題になるだろうと思って、その対策はどうしているのかも知りたいと思いました。

まず初めに役場を訪れて担当の方からお話を聞き町の施設を案内してもらいました。

病院や小学校などをまわったりして小国の雰囲気や生活について知ることができたり、バリアフリーや雪が降る土地ならではのまちづくりを学ぶことができました。小学校では校長先生とお話をする機会があり質問したりして小国をもっと知るきっかけになったと思います。また、病院などの医療施設が少ないからこそみんなその病院を頼りにしているひとたちが多かったり、でもだからこそお医者さんと地域住民のつながりが強くなるということも感じることができました。

そのあと小国の有名なラーメンを食べたりみんなで話をしたりしてとても楽しい時間を過ごせました。

午後は、町長とのお話です。忙しい中、私たちに時間を作ってくださり小国町のお話を詳しく聞かせていただきました。小国の魅力や課題などを知ることができ、そのあとは、担当の方が小国のまちづくりの歴史についてお話をしてくださり、小国のまちづくり、白い森をコンセプトに進めている地域住民の暮らしやすいまちづくり、子育て支援、高齢者支援などを雪国の視点から、また小国の魅力を生かして行なっているまちづくりにとても興味を湧きました。雪がたくさん降る土地だからこそ除雪の費用の課題で会議が何度も行われていて大変だと思ったし、どうしても地方だと少子高齢化が問題になったり人口減少が深刻化してしまう傾向にあるけれど、どうしたらもっと人が来てくれるか、また地域住民がずっと住みたいと思える町にどうしたらなるのかを役場職員の方々だけじゃなくて地域住民や学生、企業との協力を図ることが大切だと思いました。

いろんな視点からたくさんの意見がでることでまちづくりの幅が広がると思うし、話し合うことで信頼関係が生まれてより良いまちづくりができると思います。

小国の人たちと接する中で挨拶だったり話しかけてくれたりととても温かい気持ちになりました。小国の人たちが魅力ある町をつくっているんだと実感したしそれは簡単そうに見えるけど実際は難しいことだと思うし時間もかかると思います。4月から上京してきて、都会に住むようになってから近所の人との付き合いだったりそういう地域住民との触れ合いが減りました。そのように感じていた時に小国町で地域住民の交流や温かみを感じることができて改めて大切なことだと気づくことができました。

次の日は神社をまわったり、お昼には早稲田の大学生と一緒に地元の食材で料理をしたりお話ししながら一緒に食事をして交流しました。普段、早稲田の大学生と交流する機会は無かったのでとても貴重な体験になりました。大学でどんなことを学んでいるか、また小国になぜきたのかなど、自分たち以外の大学生のお話を聞いて視野が広がったし勉強になる部分が沢山ありました。自ら応募して小国町に来た人やサークルで来た人、それぞれ来た過程は違っても目的はみんな同じところにつながっていて、本気で学びに来ている姿がとても印象に残っているし私もそういう風になりたいと思えるきっかけになったと思います。大学は違ってもみんな小国を知りたいという思いは一緒だと思うので、知りたいというその思いを大事にしてこれからも色々なこと、ものに興味を持って知るために自分から行動するという心を心がけていきたいです。

この小国の研修を通して、たくさんのことを学びました。地域住民のつながり、また課題なども知りそれを様々な視点から見つめることができて自分の視野も広がったと思います。

私の地元も小国と似ている環境で雪も沢山降るし、人口減少、少子高齢化が課題になっています。都会から地方にきてもらうための政策や支援などに力をいれたり、魅力を広めるためにポスターを作ったりキャラバンをしたり、またインバウンドにも力を入れていると聞いて小国町とつながる部分がたくさんあると思いました。

その地域の魅力を知ってもらって、そこに行きたいと思ってもらえる、またそこに住む住民が自信をもって自分の住む地域が大好きだと言えるような、そんなまちづくりを目指して、まず地域住民一人一人が地域の魅力を知ることが大切だと思います。一人一人が魅力を知ることによって地域住民ではない人たちに魅力を伝えることができると思うからです。魅力を知るためには、やっぱり地域住民との交流や地域のことを知ることが大切だと思います。地域住民の雰囲気を知ることによって町の雰囲気まで感じることができるし沢山の情報を得ることができます。その情報を通じて、自分が地域の魅力を感じたりまた、新しく魅力を作り出したりすることがその地域に大きな影響を与えたいと思います。私は、自分の地元の魅力を知っているつもりだったけど改めて考え直してみると地域住民との交流も自分から積極的に行動してなかったし、特産物や歴史的建造物などの表面的な魅力しか知れてなかったと思いました。もっと深い地域の魅力を感じることができるよう、そしてもっと魅力のある町になるように私も自分から行動していきたいです。小国研

修を通して、改めて自分のことを考えさせられたし、これからについても考えるきっかけになる研修でした。

これから大学2年生になって、専門ゼミも始まるので1年生の時よりも責任感をもって行動する力が求めらると思います。私自身、自分の意見を述べたり積極的に活動することがもともと得意ではなくて、自ら裏方にまわったりあまり表に出て活動してなかったのでいきなり2年生になってすぐ積極的に自ら活動することに戸惑いもあるけれど、時間はあっという間で私たちは時間を買うことはできないのでその短い時間をいかに自分のものにするかが大切だと気づくことができたので私もそれを念頭においてこれからの短い大学生活を自分のためになる、自分の力になるようにしたいと思います。そして地域の魅力に気づけるような人になりたいと思いました。また、みんなに自分の魅力を知ってもらえるようにそのためには周りの人の魅力に気づける人になりたいです。これからの自分にむけて考えさせられる経験になり、またゼミのメンバーとも仲が深まったと思います。とてもためになるいい経験でした。この経験を生かしてもっと視野を広めて物事を見れるように頑張りたいと思いました。基礎ゼミメンバーのいい思い出にもなり、とても印象に残る研修でした。